

用 地 係

国土交通省が発表した地価公示によると、年間における市内の標準値の地価変動率は、平均6.9パーセントの下落となった。

これは、日本経済が依然として厳しい状況にあり、金融機関における融資の規制も強く、投機目的の土地取引が減少している結果と思われる。

昨年と比べても、地価の下落は続いているが、住宅地、商業地とも下落幅が縮小している状況である。

住宅用地については、金利、税制の両面から住宅取得の促進が図られているため、取引自体は活発になってきている。

公共事業を円滑に推進していくためには、その事業に必要な用地を迅速かつ確実に取得していかなければならないが、地価は、この数年間下落を続けたとはいえ依然として高値であるため、積極的に土地を売る気配がなく、たとえ公共事業であっても土地所有者にメリットがない場合は、協力を得るのに困難な状況にある。

このような中で、本年度は、原ヶ谷戸緑地（仮称）新設事業用地、都市計画道路3・4・31号線（柳通り）整備事業用地のほか道路用地等を取得した。

| 名 称 | 買 収 用 地 | | | | 物 件 等 補 償 | | 備 考 |
|---------------------|---------|----|----------|---------------|-----------|-----------|------------------|
| | 所有者数 | 筆数 | 面積 (㎡) | 金額 (円) | 所有者数 | 金額 (円) | |
| 原ヶ谷戸緑地(仮称) 新設事業 | 1 | 13 | 3,043.05 | 478,874,438 | | | 公称から買戻し |
| 都市計画道路 (柳通り)整備事業 | | | | 78,768,960 | | | " |
| 市道第1061号線 改良整備事業 | 1 | 5 | 248.26 | 28,530,020 | | | " |
| 原ヶ谷戸緑地(仮称) 新設事業 | 2 | 7 | 4,395.74 | 557,238,870 | | | 公園緑地 |
| 市道第236号線 拡幅整備事業 | 5 | 4 | 36.77 | 3,444,010 | 3 | 4,752,965 | 市道改良事業 (狭軌道路) |
| 市道第1053号線 拡幅整備事業 | 1 | 1 | 11.04 | 320,160 | 1 | 308,500 | " |
| 市道第1065号線 拡幅整備事業 | 3 | 1 | 20.59 | 597,110 | | | " |
| 市道第132号線 拡幅整備事業 | 1 | 1 | 3.37 | 195,460 | | | " |
| 市道第133号線 拡幅整備事業 | 2 | 2 | 108.02 | 4,801,530 | 2 | 2,713,615 | " |
| 市道第1213号線 拡幅整備事業 | 2 | 2 | 5.95 | 432,720 | | | " |
| 市道幹線 3号線整備事業 | 1 | 2 | 31.20 | 567,840 | | | 市道改良 事業 |
| 市道幹線 13号線整備事業 | 2 | 2 | 133.58 | 27,710,170 | 1 | 525,488 | " |
| 合 計 | 21 | 40 | 8,037.57 | 1,181,481,288 | 7 | 8,300,568 | |